

P G マルチペイメントサービス

モジュール・タイプ

(Java 版 カード決済インタフェース仕様)

2014 年 6 月 4 日 1.13 版

- ☑ 本書の著作権は「GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、当社までご連絡下さい。

目次

1. はじめに.....	1
1.1. 項目の説明	1
1.2. 開発するにあたっての注意事項.....	5
1.2.1. 取引について	5
1.2.2. 取引状態の遷移について	5
1.2.3. カード登録連番の概念について	7
2. インタフェース仕様.....	9
2.1. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを未使用>.....	9
2.1.1. カード番号決済の流れ	9
2.1.2. 各インタフェース仕様詳細	10
2.2. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを使用>.....	14
2.2.1. 本人認証サービス使用型カード番号決済の流れ.....	14
2.2.2. 各インタフェース仕様詳細	16
2.3. 会員情報を登録する	23
2.3.1. 会員登録の流れ.....	23
2.3.2. 各インタフェース仕様詳細.....	24
2.4. 会員情報を更新する	25
2.4.1. 会員更新の流れ.....	25
2.4.2. 各インタフェース仕様詳細.....	26
2.5. 会員情報の削除をする	27
2.5.1. 会員削除の流れ.....	27
2.5.2. 各インタフェース仕様詳細.....	28
2.6. 会員情報を参照する	29
2.6.1. 会員参照の流れ.....	29
2.6.2. 各インタフェース仕様詳細.....	30
2.7. カード情報を登録または更新する	31
2.7.1. カード登録の流れ	31
2.7.2. 各インタフェース仕様詳細.....	32
2.8. カード情報の削除をする	34
2.8.1. カード削除の流れ	34
2.8.2. 各インタフェース仕様詳細.....	35
2.9. カード情報を参照する	36
2.9.1. カード参照の流れ	36
2.9.2. 各インタフェース仕様詳細.....	37
2.10. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを未使用>.....	38
2.10.1. 会員 ID 決済の流れ	38
2.10.2. 各インタフェース仕様詳細	40
2.11. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを使用>.....	42
2.11.1. カード番号を選択し、本人認証を行って決済する場合の流れ	42
2.11.2. 各インタフェース仕様詳細	44

2.12.	決済の内容を取り消す	46
2.12.1.	決済内容を取り消す流れ	46
2.12.2.	各インタフェース仕様詳細	47
2.13.	取り消した決済に再度オーソリを行う	48
2.13.1.	再オーソリを行う流れ	48
2.13.2.	各インタフェース仕様詳細	49
2.14.	売上の確定を行う	51
2.14.1.	実売上を行う流れ	51
2.14.2.	各インタフェース仕様詳細	52
2.15.	完了した決済に金額の変更を行う	54
2.15.1.	金額変更を行う流れ	54
2.15.2.	各インタフェース仕様詳細	55
2.16.	決済結果を参照する	57
2.16.1.	取引状態参照の流れ	57
2.16.2.	各インタフェース仕様詳細	58
2.17.	カード番号決済に使用したカード番号を登録する	60
2.17.1.	決済に使用したカード番号登録の流れ	60
2.17.2.	各インタフェース仕様詳細	61
2.18.	その他	62

変更履歴

2008 年 9 月 1 日 - 1.00 版

- ・ 新規作成

2009 年 5 月 11 日 - 1.01 版

- ・ 2.12. “決済の内容を取り消す”の文言を訂正

2009 年 6 月 9 日 - 1.02 版

- ・ 利用金額の桁数誤記のため訂正
訂正前：8 桁
訂正後：7 桁
- ・ 会員削除、会員参照の記述を訂正

2009 年 7 月 28 日 - 1.03 版

- ・ 会員名の桁数誤記のため訂正
訂正前：50 桁
訂正後：255 桁

2009 年 9 月 1 日 - 1.04 版

- ・ 本人認証サービス表示用店舗名/3D セキュア表示店舗名の説明内容を訂正
- ・ オーダーID の説明に、メールリンクと他の接続方式を併用する場合の注意点を記載

2010 年 01 月 7 日 - 1.05 版

- ・ 決済後カード登録処理の入力パラメータに以下の項目を追加
DefaultFlag 洗替 / 継続課金対象フラグ
HolderName カード名義人

2010 年 03 月 31 日 - 1.06 版

- ・ パラメータの型について、誤記箇所を訂正

2010 年 08 月 11 日 - 1.07 版

- ・ 会員 ID 決済においてセキュリティーコードが利用可能なことを明記

2010 年 10 月 4 日 - 1.08 版

- ・ 会員 ID 決済において物理モードの場合に削除カードでの決済が可能なことを明記
- ・ カードパスワードについての表記を統一

2011 年 4 月 8 日 - 1.09 版

- ・ 金額変更エラー時の挙動について追記

2011 年 11 月 29 日 - 1.10 版

- ・ 認証後決済実行 PaRes の説明に注記を追加

2012 年 3 月 9 日 - 1.11 版

- ・ 2.4.2.1. 会員更新について入出力項目名を修正

2012 年 11 月 20 日- 1.12 版

- ・ Mobile Edy から楽天 Edy に表記を変更
- ・ 2.6.2.1.会員参照 出力パラメータ DeleteFlag(削除フラグ)の説明を修正
- ・ SearchCard の送信パラメータにおいて SeqMode を必須パラメータとするよう修正

2014 年 6 月 4 日- 1.13 版

- ・ 2.13.2.1.決済変更 の入力パラメータに DisplayDate を追加
- ・ 2.14.2.1.決済変更 の入力パラメータに DisplayDate を追加
- ・ 2.15.2.1.金額変更 の入力パラメータに DisplayDate を追加
- ・ 表 1.2.1-1 項目 20 加盟店自由項目返却フラグのデフォルトを「1:返却する」に修正

1. はじめに

本書は、お客様が本サービスのカード決済開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。カード決済以外のコンビニ、楽天 Edy、モバイル Suica、Pay-easy につきましては、別紙「065_モジュールタイプ (Java 版_マルチ決済インタフェース仕様)」をご参照ください。

本書では、以下の表記を使用致します。

『』: 処理状態または処理区分

【】: インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目を説明致します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目を説明致します。

表 1.2.1-1 入出力項目の定義

No.	項目	説明 (設定値表記を含む)
1	ショップ ID	弊社が発行する加盟店様を識別する ID です。
2	ショップパスワード	ショップ ID に対するパスワードです。
3	オーダーID	<p>加盟店様が取引を識別するために使用して頂く ID です。一度使用した値を再度使用する事は出来ませんので、注文番号等の変更が出来ない値を直接設定するのはおやめ下さい。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字と”-(ハイフン)”となります。</p> <p>また、メールリンク決済では、弊社側で「ML-ORDER」で開始するオーダーID を自動生成します。メールリンクと他の接続方式を併用される場合、「ML-ORDER」で開始されるオーダーID はご利用にならないよう、お願いいたします。</p>
4	処理区分	<p>取引に対して行う処理の区分です。</p> <p>インタフェースによって指定出来る処理区分は異なりますので、詳細は各インタフェースを参照下さい。</p>
5	商品コード	<p>カード会社が規定している取引される商材を分類するコードです。</p> <p>カード会社との契約にて使用する商品コードが決まっている場合に設定します。</p> <p>弊社の包括契約の場合やカード会社との契約時に商品コードに関する内容がない場合は、省略します。尚、省略時はその他("0000990")にて処理を行います。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字 7 桁」となります。</p>

6	利用金額	<p>税送料を含まない金額です。</p> <p>決済を行う金額を 1 円以上で設定します。尚、0 円やマイナス金額を設定した場合はエラーとなります。</p>
7	税送料	<p>送料等の実際の商品金額とは異なる金額です。</p> <p>税送料を設定した場合、決済金額は利用金額と税送料を合わせたものとなります。</p>
8	本人認証サービス 利用フラグ	<p>決済時に本人認証サービスを利用するかを指定するフラグです。</p> <p>取引ごとに利用可否を設定する事が出来ます。</p> <p>0：行なわない(デフォルト) 1：行う</p>
9	本人認証サービス 表示用店舗名	<p>本人認証サービスのパスワード入力画面に表示する店舗名です。日本語も 8 文字まで使用可能ですが、文字化けが起こりやすいので、可能でしたら英数半角にて設定いただき、十分な検証をおこなっていただくことを推奨いたします。</p> <p>また、対応している文字セットは EUC-JP となりますのでご注意ください。</p>
10	取引 ID	本サービスにて発行する取引を識別するためのユニークな ID です。
11	取引パスワード	識別する取引 ID に対するパスワードです。
12	支払方法	<p>決済を行う支払方法です。カード会社との加盟店契約の内容によりエラーとなる場合もありますのでご注意ください。</p> <p>1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ</p>
13	支払回数	支払方法が分割の場合、支払う回数です。
14	サイト ID	弊社が発行するサイトを識別する ID です。
15	サイトパスワード	弊社が発行するサイトを識別する ID に対するパスワードです。
16	会員 ID	<p>加盟店様が会員を管理する為に発行する ID です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(- @ _ .)」となります。</p>
17	カード登録連番	<p>カード登録を行った時に、返却する数値です。</p> <p>内容は、モードによって異なります。</p> <p>詳細は、「カード登録連番の概念」を参照下さい。</p>
18	カードパスワード	<p>カード登録時に指定出来るパスワードです。</p> <p>決済実行時に、指定する事で不正利用対策になります。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字」となります。</p>

19	加盟店自由項目 1～3	<p>加盟店様で自由に設定出来る項目となります。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
20	加盟店自由項目 返却フラグ	<p>設定された自由項目の値を決済完了時に返却するかを指定するフラグです。</p> <p>0：返却しない 1：返却する(デフォルト)</p>
21	HTTP_ACCEPT	<p>クライアントが受け付けることができる MIME タイプのリストです。</p> <p>ブラウザより取得した値を使用して下さい。</p>
22	HTTP_USER_AGENT	<p>クライアントがリクエストを発行するときに使用するブラウザ名です。</p> <p>ブラウザより取得した値を使用して下さい。</p>
23	使用端末情報	<p>お客様がどのような端末でアクセスしているかを表す値です。</p> <p>設定値としては、携帯もありますがカード会社が携帯に対応していない為、現状は PC 固定となります。</p> <p>0：PC(デフォルト) 1：携帯(2008 年 9 月現在 未対応)</p>
24	本人認証パスワード 入力画面 URL	本人認証サービスを利用した場合に本人認証パスワード入力画面へ遷移するための URL です。
25	PaReq	本人認証サービスの要求データです。カード会社で暗号化されているために内容は不明ですので、受け取った値を本人認証サービスにそのままお渡し下さい。
26	TermUrl	本人認証パスワード入力画面でお客様がパスワードを入力後に戻る加盟店様の URL です。
27	MD	本人認証サービスを利用した場合に、加盟店様側のセッション管理に使用して頂ける値ですが、本サービスでは、取引 ID を指定して頂きます。
28	PaRes	<p>本人認証サービスの結果です。カード会社で暗号化されているために内容は不明ですので、受け取った値を本サービスにそのままお渡し下さい。</p> <p>本サービスにて、認証が成功したか否かの確認を行います。</p>
29	仕向先カード会社コード	カード番号と加盟店様のカード会社契約状況から、データを送信した先のカード会社コードです。
30	承認番号	カード会社がオーソリ毎に発行する承認の番号です。ただし、有効性チェックや取消、返品、月跨り返品の場合には発行されない場合があります。
31	トランザクション ID	本サービスがオーソリ毎に発行する番号です。
32	決済日付	本サービスの決済を行った日時となります。
33	会員名	<p>加盟店様が会員を管理する為に発行する会員 ID に紐付く名前です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>

34	洗替・継続課金フラグ	登録したカードを洗替と継続課金の対象とするか判別するためのフラグです。1 会員 ID につき 1 カード番号にしか設定出来ません。新たに登録するカード番号を対象とした場合は以前のフラグは「対象としない」に変更されます。 0:対象としない(デフォルト) 1:対象とする
35	カード会社略称	カード登録時に設定出来る値です。本サービスとしては使用しません。
36	カード番号	お客様が保持しているクレジットカードの番号です。
37	有効期限	お客様が保持しているクレジットカードの有効期限です。 書式は、「YYMM」形式となります。
38	セキュリティコード	お客様が保持しているクレジットカードの裏面にある 3 桁もしくは 4 桁の数字 設定可能な文字は「 半角数字 」となります。
39	名義人	お客様が保持しているクレジットカードの名義人です。 設定可能な文字は「 半角英数字 + 半角空白 」となります。詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。
40	現状態	取引の現在状態です。

1.2. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、モジュール・タイプで開発する際の注意事項を説明致します。

1.2.1. 取引について

以下に、取引内容に付いての注意事項を説明致します。

取引の削除

本サービスは、取引の削除は出来ません。結果にエラーがあった場合も例外ではありませんのでご注意ください。

そのため、オーダーID に注文書番号等の変更が出来ない番号は使用しないで下さい。どうしても、使用しなくてはならない場合は、注文番号+連番のような発番ルールを推奨いたします。

仮売上後の実売上

仮売上のオーソリ実施後 90 日を越えて実売上を行うとエラーとなります。運用上 90 日を越える事が想定される場合は、仮売上の返品または月跨り返品を実施後に再度オーソリを行う必要があります。これを行っていない場合にはエラーとなります。

また、長期にわたる場合は再オーソリ時に、カードの状況によっては有効期限エラーまたは限度額オーバーなどのエラーとなる場合がございます。(詳細な理由に関してはお客様の個人情報にも関わりますため、お客様(カード会員)からカード券面に記載のカード発行会社へお問い合わせくださいませ。)

一部返品

本サービスは、必ず仮売上と実売上もしくは実売上と取消(または返品、月跨り返品)の金額が一致していなければいけません。このような一部返品の実施を行う場合には、一度取消(または返品、月跨り返品)を実施後に新しい金額にて再オーソリを実施して下さい。尚、再オーソリ時にカードの状況によっては有効期限エラーまたは限度額オーバーなどエラーとなる場合がございます。(詳細な理由に関してはお客様の個人情報にも関わりますため、お客様ご自身からカード券面に記載のカード発行会社へお問い合わせくださいませ。)

1.2.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態からの行なえる処理の一覧を説明致します。

表 1.2.2-1 取引状態遷移表

状態 \ 操作	仮売上	実売上	即時売上	取消・返品	月跨り返品	簡易 オーソリ	有効性 チェック	金額変更
未決済		×		×	×			×
仮売上済み	×		×		×	×	×	
実売上済み	×	×	×			×	×	
即時売上済み	×	×	×			×	×	
取消・返品済み		×		×	×		×	×
月跨り返品済み		×		×	×		×	×
簡易オーソリ済み	×	×	×		×	×	×	
有効性チェック済み	×	×	×	×	×	×	×	×

< 上記表の見方 >

未決済状態の取引は『仮売上』・『即時売上』・『簡易オーソリ』・『有効性チェック』が実施可能。

1.2.3. カード登録連番の概念について

本サービスは、各会員に対してカードを登録する際にカード登録連番を発行します。カード登録連番は以下の2パターンとなります。

論理モード

このモードは、有効なカード情報のみを対象としてカード登録連番を採番し直して返します。

加盟店様がカード情報照会を呼び出すと、本サービスは保持している情報で有効なカード情報を取得し、論理番号を採番し返します。

このモードは必ず1枚しか登録しない加盟店様向けのモードとなります。論理モードで1枚しか登録しない場合は、決済時のカード登録連番は"0"固定で処理が可能となります。

論理モードを使用した場合には、必ず0~4の数値が返ります。

例として、カード情報を参照した場合のイメージは下図のようになります。

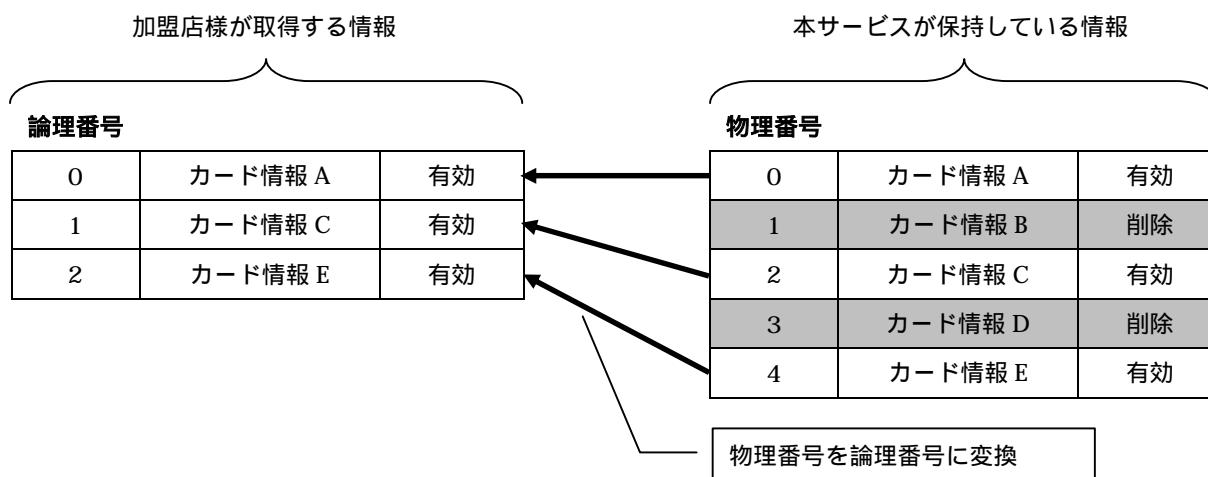


図 1.2.3-1 カード情報照会にて取得されるカード登録連番の値

物理モード

このモードは、本サービス内部で保持しているカード登録連番をそのまま返します。

以下のような情報が取得したい場合には、物理モードをご使用下さい。

- ・ 過去に行った決済に利用したカード情報を再利用する場合
- ・ 加盟店様側でカード情報に 1 対 1 で紐付ける情報が存在する場合

上記のような内容を処理するためには、過去に行った決済で指定されたカード情報が必要ですが論理モードでは削除されたり変更されたりしてしまい決済時に使用したカード情報を特定することが困難です。ですが、物理モードでは削除されたカード情報も返却するために決済時のカード情報を特定することが可能となります。

物理モードを使用した場合には、最大 4 桁（9999）が返ります。

例として、カード情報を参照した場合のイメージは下図のようになります。

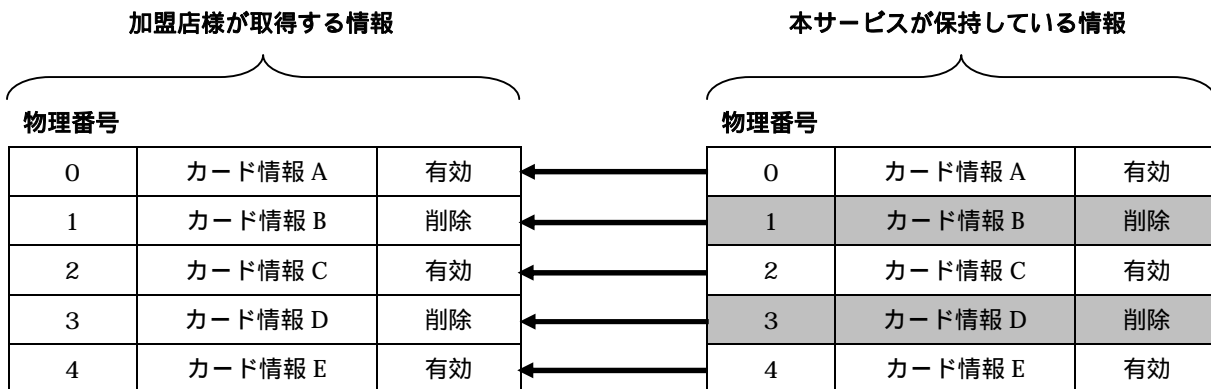


図 1.2.3-2 カード情報照会にて取得されるカード登録連番の値

注意

- ・ 過去に行った決済時のカード情報を完全に保持している事を保障している訳ではありません。
- ・ 決済完了後にカード情報を更新した場合は、決済時のカード情報は取得出来なくなります。

2. インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明致します。

2.1. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを未使用>

購入時にお客様がカード番号を入力してから決済します。ここでは決済時に本人認証サービスを使用しない決済について説明致します。

2.1.1. カード番号決済の流れ

以下に、本人認証サービスを使用しないカード番号決済の流れをご説明します。

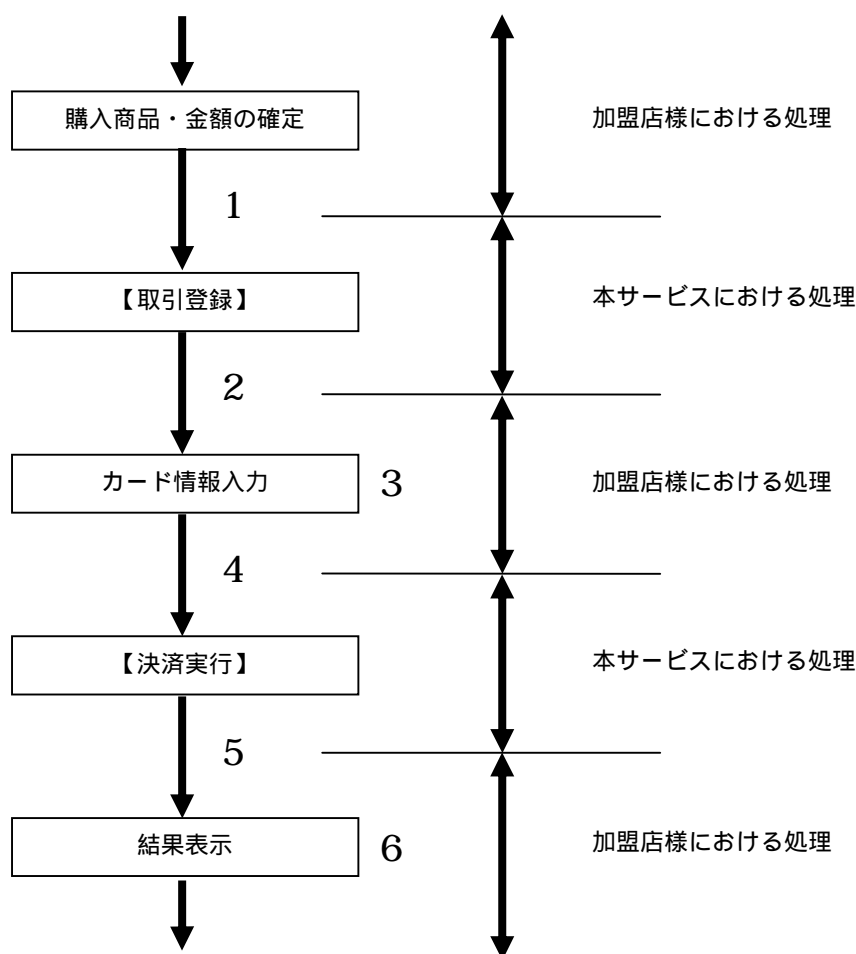


図 2.1.1-1 カード番号決済<本人認証サービス未使用>の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって本サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
5. 本サービスは、カード情報を使用してカード会社との通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.1.2. 各インターフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTran	EntryTranInput	EntryTranOutput	プロトコルタイプの取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【EntryTranInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	JobCd		String	-	処理区分	以下のいずれかを設定 CHECK：有効性チェック CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SAUTH：簡易オーソリ
5	ItemCode		String	7	商品コード	省略時はシステム固定値("0000990")を適用 1
6	Amount		Integer	7	利用金額	『有効性チェック』を除く処理区分は必須となります。
7	Tax		Integer	7	税送料	
8	TdFlag		String	1	3D セキュア使用フラグ	0：行なわない(デフォルト) 1：行なう
9	TdTenantName		String	25	3D セキュア表示店舗名	アクセサにて設定した表示店舗名を EUC-JP で BASE64 エンコーディングした値が設定されます。 2 上記変換後の値は 25Byte 以内である必要があります。 省略時は、店舗名が「未指定」となります。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

- 1：通常は省略してください。カード会社との間の契約で使用する商品コードが決められた場合のみ設定してください。
2：日本語も使用可能ですが、文字化けが起こりやすいので使用する場合は十分な検証を実施してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ値を返却します。 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ値を返却します。 : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力したカード番号と有効期限の情報を使用して、カード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTran	ExecTranInput	ExecTranOutput	プロトコルタイプの決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Method		String	1	支払方法	以下のいずれかを設定 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ 『有効性チェック』を除く処理区分は必須となります。
5	PayTimes		Integer	2	支払回数	分割もしくはボーナス分割の支払方法は必須となります。
6	CardNo		String	16	カード番号	決済に使用するカード番号
7	Expire		String	4	有効期限	決済に使用するカードの有効期限 (YYMM 形式)
8	SecurityCode		String	4	セキュリティーコード	
9	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
10	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
11	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
12	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定 0：返却しない 1：返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACS	-	String	1	ACS 呼出判定	0:ACS 呼出不要
2	OrderID	-	String	27	オーダーID	
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	
4	Method	-	String	1	支払方法	
5	PayTimes	-	Integer	2	支払回数	
6	Approve	-	String	7	承認番号	
7	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
8	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 形式
9	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(1)
10	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
11	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
13	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 - : 出力時】

1 : 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

2.2. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを使用>

購入時にお客様がカード番号を入力して決済をします。ここでは決済時に本人認証サービスを使用した決済について説明致します。

2.2.1. 本人認証サービス使用型カード番号決済の流れ

以下に、本人認証サービスを使用するカード番号決済の流れを説明致します。

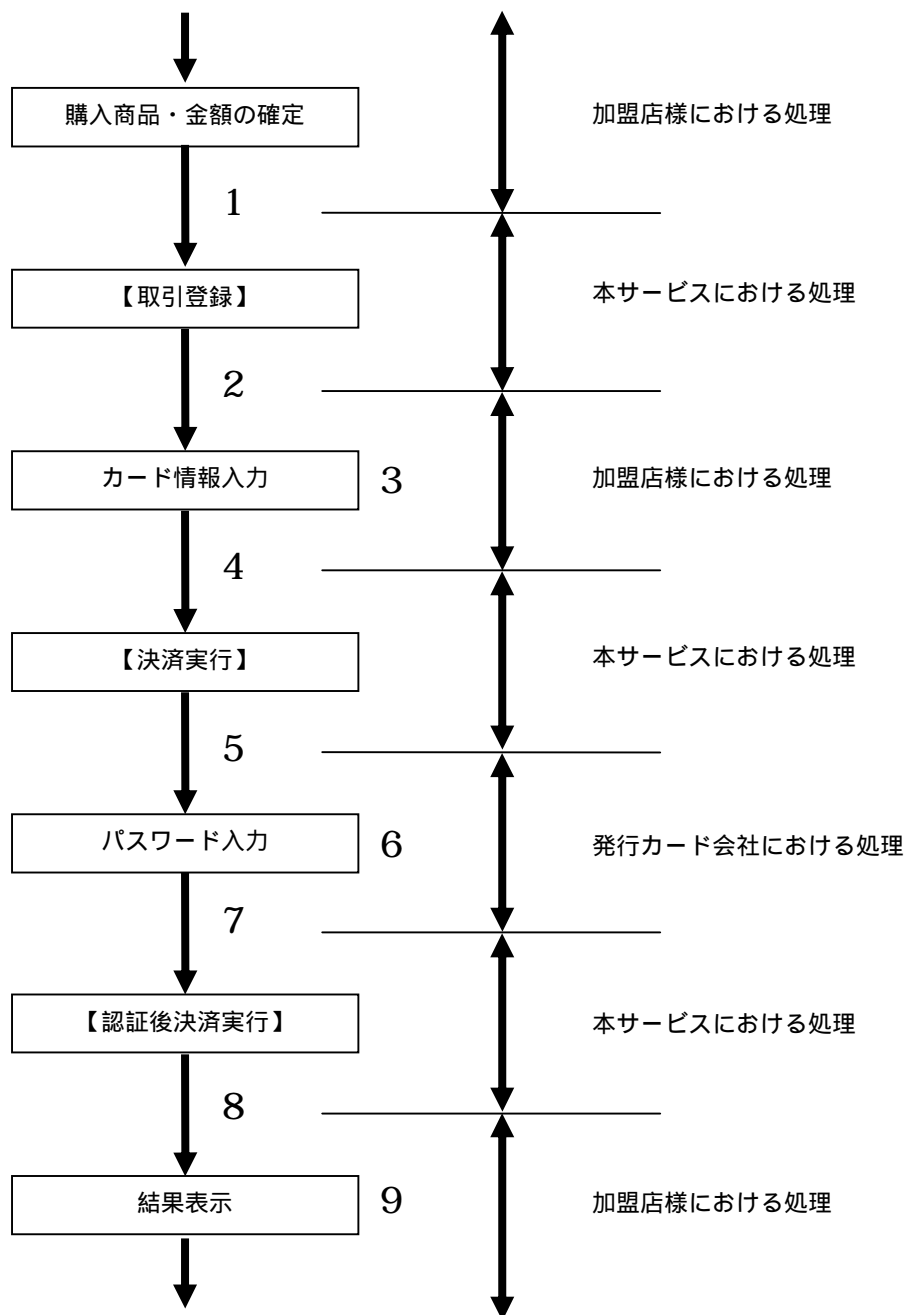


図 2.2.1-1 本人認証サービス使用型カード番号決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって本サービスの【決済実行】を呼び出します。
5. 本サービスは、カード情報を使用して本人認証サービスとの通信を行い本人認証可能なカード情報か否かを判定し本人認証パスワード入力画面 URL を返します。
カード情報が本人認証サービス不可であった場合は、カード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。
6. 加盟店様は、本サービスより返された本人認証パスワード入力画面 URL を呼び出します。
7. 加盟店様は、本人認証サービスより返された値をもって本サービスの【認証後決済実行】を呼び出します。
8. 本サービスは、本人認証サービスより戻された値を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
9. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.2.2. 各インターフェース仕様詳細

2.2.2.1. 取引登録

「2.1.2.1 取引登録」の内容をご参照下さい。

2.2.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力したカード番号と有効期限の情報でカード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。カード情報が本人認証サービスに対応していない場合は、カード会社との通信を行い決済を実行します。その際の出力パラメータは「2.1.2.2 決済実行」の出力パラメータと同じになります。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTran	ExecTranInput	ExecTranOutput	プロトコルタイプの決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Method		String	1	支払方法	以下のいずれかを設定 1:一括 2:分割 3:ボーナス一括 4:ボーナス分割 5:リボ 『有効性チェック』を除く処理区分は必須となります。
5	PayTimes		Integer	2	支払回数	分割もしくはボーナス分割の支払方法は必須となります。
6	CardNo		String	16	カード番号	決済に使用するカード番号
7	Expire		String	4	有効期限	決済に使用するカードの有効期限 (YYMM 形式)
8	SecurityCode		String	4	セキュリティコード	
9	HttpAccept		String	-	HTTP_ACCEPT	
10	HttpUserAgent		String	-	HTTP_USER_AGENT	
11	DeviceCategory			1	使用端末情報	以下のいずれかを設定 0: PC(デフォルト) 1: 携帯装置(2007 年 2 月現在 未対応)
12	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
13	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
14	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
15	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定 0: 返却しない 1: 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

各パラメータ値が出力パラメータクラス(ExecTranOutput)に設定されて出力されます。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACS	-	String	1	ACS 呼出判定	1:ACS 呼出要
2	ACSUrl	-	String	-	本人認証パスワード入力画面 URL	Visa 3D セキュア仕様に準拠
3	PaReq	-	String	-	3D セキュア認証要求電文	Visa 3D セキュア仕様に準拠
4	MD	-	String	32	取引 ID	セッション管理に使用

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.2.2.3. カード会社のパスワード入力画面を呼び出す

インターフェース概要

本人認証サービス呼び出す際のパラメータと本人認証サービスから返却されるパラメータです。この部分は本サービスではなくお客様と本人認証サービスのやりとりとなりますので、加盟店様は本サービスより返却した本人認証パスワード入力画面を呼び出して下さい。

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

本人認証パスワード入力画面用リダイレクトページパラメータ(加盟店様 本人認証サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACSUrl		CHAR	-	本人認証パスワード入力画面 URL	Visa 3D セキュア仕様に準拠
2	PaReq		CHAR	-	本人認証サービス要求電文	Visa 3D セキュア仕様に準拠
3	TermUrl		CHAR	-	結果受取用 URL	HTTPS の URL
4	MD		CHAR	32	取引 ID	セッション管理に使用

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページサンプル

【リダイレクトページ作成】 を利用することで、雛形内の対応するキーワードがパラメータの値で置き換えられた内容が取得することができます。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="ACSCall" action="{ACSUrl}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          3-D セキュア認証を続けます。<br>
          ボタンをクリックしてください。
        </h2>
        <input type="submit" value="OK">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="PaReq" value="{PaReq}">
    <input type="hidden" name="TermUrl" value="{TermUrl}">
    <input type="hidden" name="MD" value="{MD}">
  </form>
  <script >
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.ACSCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>
```

1：上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

本人認証パスワード入力画面の返却パラメータ(本人認証サービス 加盟店様[TermUrl で指定した URL])

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaRes	-	CHAR	-	本人認証サービス結果電文	Visa 3D セキュア仕様に準拠
2	MD	-	CHAR	32	取引 ID	セッション管理に使用

【必須項目の記号 ：必須 ：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

2.2.2.4. リダイレクトページ作成

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、本人認証パスワード入力画面呼び出し用のリダイレクトページの内容を作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	createRedirectPage	pagePath, acsParam, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページの内容を作成します。
2	createRedirectPage	pagePath, execResult, termUrl, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページの内容を作成します。 引数として【決済実行】の出力パラメータを使用します。

【AcsParam】

本人認証パスワード入力画面呼び出し用の入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ

引数に本人認証パスワード入力画面呼び出し用パラメータを使用する場合

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath		String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	acsParam		AcsParam	-	本人認証パスワード入力画面呼び出し用パラメータ	本人認証パスワード入力画面呼び出し用の各パラメータを格納します。
	ACSTurl		String	-	本人認証パスワード入力画面 URL	Visa 3D セキュア仕様に準拠
	PaReq		String	-	3D セキュア認証要求電文	Visa 3D セキュア仕様に準拠
	TermUrl		String	-	結果受取用 URL	HTTPS の URL
	MD		String	32	取引 ID	セッション管理に使用
3	encode		String	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

引数に決済実行の出力パラメータを使用する場合

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath		String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	execResult		ExecTran Output EntryExec TranOutput	-	本人認証パスワード入力画面呼び出し用パラメータ	doExecTran メソッド、doEntryExecTran メソッドの実行結果の出力パラメータで、本人認証パスワード入力画面呼び出し用の各パラメータ (ACSTurl、PaReq、MD)を含みます。
	ACSTurl		String	-	本人認証パスワード入力画面(発行元カード会社)URL	Visa 3D セキュア仕様に準拠
	PaReq		String	-	3D セキュア認証要求電文	Visa 3D セキュア仕様に準拠
	MD		String	32	取引 ID	セッション管理に使用
3	TermUrl		String	-	結果受取用 URL	HTTPS の URL
4	encode		String	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ内容	リダイレクトページ作成結果の内容の文字列

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.2.2.5. 認証後決済実行

インタフェース概要

本人認証サービスの結果を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSecureTran	SecureTranInput	SecureTranOutput	プロトコルタイプの認証決済インターフェイスを使用して、決済を実施します。
2	doSecureTran	paRes, md	SecureTranOutput	プロトコルタイプの認証決済インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【SecureTranInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【SecureTranOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaRes		String	-	3D セキュア認証結果	Visa 3D セキュア仕様に準拠(1)
2	MD		String	32	取引 ID	セッション管理に使用

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Forward	-	String	7	仕向先コード	
3	Method	-	String	1	支払方法	
4	PayTimes	-	String	2	支払回数	
5	Approve	-	String	7	承認番号	
6	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
7	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式(システム日付)
8	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショッピングパスワードの MD5 ハッシュ(2)
9	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	決済実行時に加盟店自由項目返却フラグが【返却する】の場合のみ返却
10	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
11	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
12	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

1: URL エンコードされた文字列を設定してください

2: 出力内容の OrderID ~ TranDate とショッピングパスワードをベースにしたハッシュ値

2.3. 会員情報を登録する

カード情報を紐付ける会員の情報をサイトに登録します。これにより、カード情報の保持が可能となります。

2.3.1. 会員登録の流れ

以下に会員情報を登録する流れを説明致します。

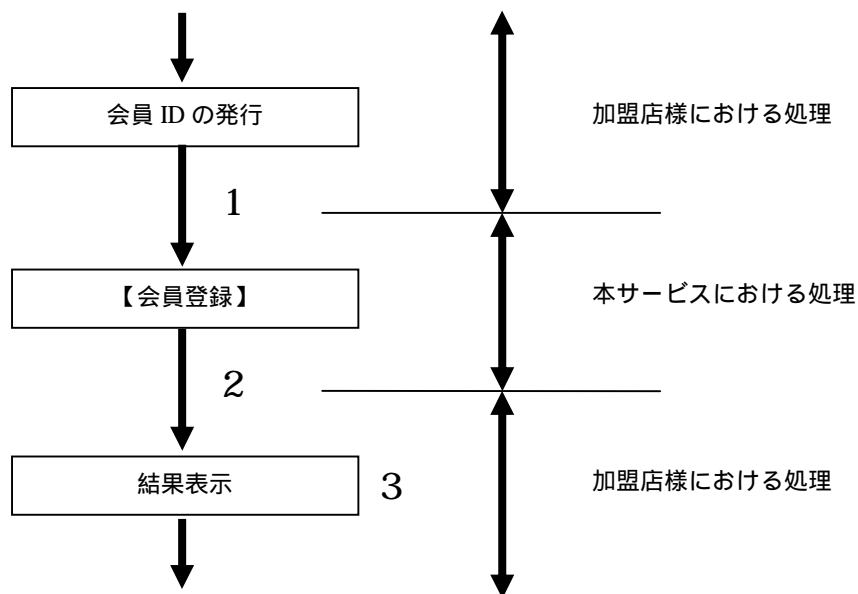


図 2.3.1-1 会員登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様に対しての会員 ID を発行し、本サービスの【会員登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、会員情報をサイトに紐付けて登録します。
3. 加盟店様は、お客様に対して登録された会員 ID を通知します。

2.3.2. 各インタフェース仕様詳細

2.3.2.1. 会員登録

インターフェース概要

指定したサイトに会員情報を登録します。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSaveMember	SaveMemberInput	SaveMemberOutput	プロトコルタイプの会員登録インターフェイスを使用して、会員を登録します。

【SaveMemberInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SaveMemberOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	
4	MemberName		String	255	会員名	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	MemberID	-	String	60	会員 ID	
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.4. 会員情報を更新する

会員の情報を更新します。

2.4.1. 会員更新の流れ

以下に会員情報を更新する流れを説明致します。

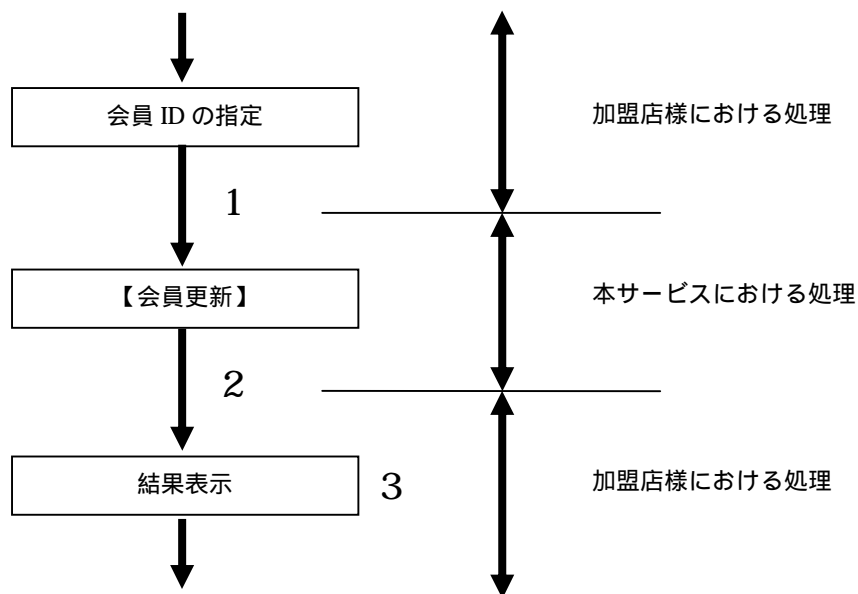


図 2.4.1-1 会員更新の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、更新する会員 ID を指定し本サービスの【会員更新】を呼び出します。
2. 本サービスは、サイトより指定された会員 ID の会員情報を更新します。
3. 加盟店様は、お客様に対して会員情報を更新した旨を通知します。

2.4.2. 各インタフェース仕様詳細

2.4.2.1. 会員更新

インターフェース概要

指定されたサイトに会員情報を更新します。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doUpdateMember	UpdateMemberInput	UpdateMemberOutput	プロトコルタイプの会員更新インターフェイスを使用して、会員を更新します。

【doUpdateMember】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【doUpdateMember】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	
4	MemberName		String	255	会員名	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	MemberID	-	String	60	会員 ID	
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.5. 会員情報の削除をする

サイトから会員の情報を削除します。これにより、削除した会員情報は使用できなくなります。

一度会員 ID を削除しますと、同じ会員 ID で再度登録することはできません。

2.5.1. 会員削除の流れ

以下に会員情報を削除する流れをご説明します。

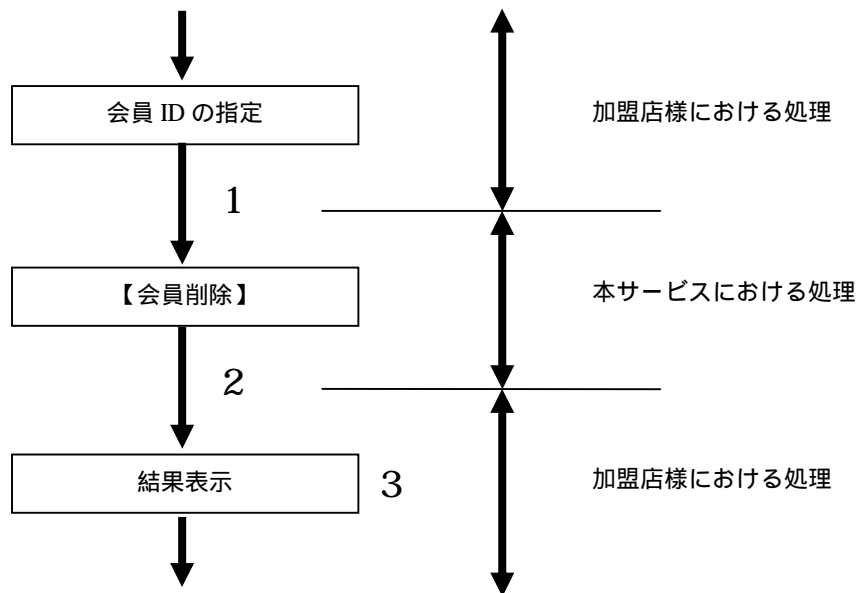


図 2.5.1-1 会員削除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、削除する会員 ID を指定し本サービスの**【会員削除】**を呼び出します。
2. 本サービスは、サイトより指定された会員 ID の会員情報を削除します。
3. 加盟店様は、お客様に対して削除した旨を通知します。

尚、会員が退会する場合は、**【カード照会】**と**【カード削除】**、このインタフェースを併用してカード情報を削除することを推奨します。以下にその実現方法を記述します。

1. 会員が退会要求する。
2. **【カード照会】**を呼び出す。
3. **【カード削除】**を呼び出す。(お客様が登録しているカード枚数分の呼び出しが必要となります。)
4. **【会員削除】**を呼び出す。
5. お客様に結果を通知する

2.5.2. 各インタフェース仕様詳細

2.5.2.1. 会員削除

インタフェース概要

指定したサイトから会員情報を削除します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doDeleteMember	DeleteMemberInput	DeleteMemberOutput	プロトコルタイプの会員削除インターフェイスを使用して、会員を削除します。

【DeleteMemberInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【DeleteMemberOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	会員が属しているサイトの ID
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	会員が属しているサイトのパスワード
3	MemberID		String	60	会員 ID	削除対象会員の ID

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	MemberID	-	String	60	会員 ID	削除を正常に完了した会員 ID
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.6. 会員情報を参照する

サイトに登録されている会員 ID 情報の参照が可能です。

削除した会員 ID 情報は参照できません。実施した場合は、エラーとなります。

2.6.1. 会員参照の流れ

以下に会員情報を参照する流れをご説明します。

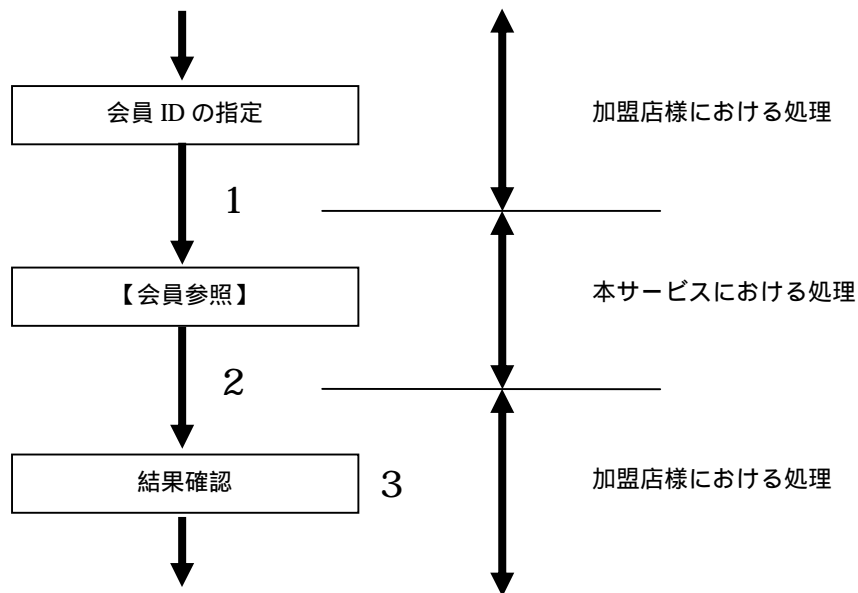


図 2.6.1-1 会員参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照したい会員 ID を指定し本サービスの【会員参照】を呼び出します。
2. 本サービスは、サイトより指定された会員 ID の会員情報を参照します。
3. 加盟店様は、参照した内容を確認します。

2.6.2. 各インタフェース仕様詳細

2.6.2.1. 会員参照

インタフェース概要

指定したサイトの会員情報を参照します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSearchMember	SearchMemberInput	SearchMemberOutput	プロトコルタイプの会員参照インターフェイスを使用して、会員情報を取得します。

【SearchMemberInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchMemberOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	MemberList	-	List	-	会員情報リスト	
	MemberInfo	-	MemberInfo	-	会員情報	
	MemberID	-	String	60	会員 ID	
	MemberName	-	String	255	会員名	
	DeleteFlag	-	String	1	削除フラグ	0:未削除 を返却します。(1)
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 -: 出力時】

1 : 既に削除された会員 ID を参照した場合は「E01390002」のエラーコードを返却します。

2.7. カード情報を登録または更新する

会員 ID に対してカード情報を登録します。また、登録連番を指定することで、保有情報の更新を行うことも可能です。尚、登録 / 更新を行う際にはカード会社と通信を行いカード情報が有効であることを確認し有効な情報だけを保持します。

カード登録連番は、指定したモードにより返却される内容が異なります。詳細は「1.2.3 カード登録連番の概念について」をご参照下さい。

2.7.1. カード登録の流れ

以下にカード情報を登録または更新する流れを説明致します。

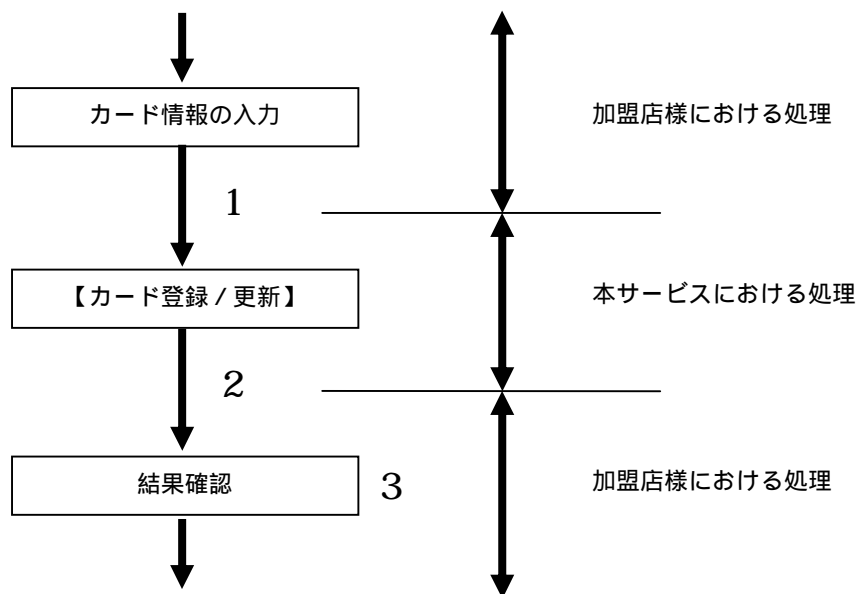


図 2.7.1-1 カード登録 / 更新の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、登録するカード情報をもって**【カード登録 / 更新】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定されたカード情報を使用してカード会社と通信を行い有効性が確認出来たら登録します。有効性が、確認できなかった場合は、エラーが返されます。
3. 加盟店様は、登録された内容を確認します。

また、会員とカード番号を同時に登録する場合は、**【会員情報登録】**とこのインタフェースを併用の上、実施してください。以下に併用しての実現方法を記述します。

1. 会員 ID を発行する。
2. **【会員登録】**を呼び出す。
3. お客様がカード情報を入力する。
4. **【カード登録 / 更新】**を呼び出す。
5. 有効性の確認が出来なかった場合は再入力を促す。
6. 4 を実施(以降繰り返し)
7. お客様に結果を通知する。

尚、2,3 は順不同です。

2.7.2. 各インタフェース仕様詳細

2.7.2.1. カード登録 / 更新

インタフェース概要

指定した会員にカード情報を登録します。尚、サイトに設定されたショップ ID を使用してカード会社と通信を行い有効性の確認を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSaveCard	SaveCardInput	SaveCardOutput	プロトコルタイプのカード登録 / 更新 インターフェイスを使用して、カード 情報を登録または更新します。

【SaveCardInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SaveCardOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	
4	SeqMode		String	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0:論理モード(デフォルト) 1:物理モード
5	CardSeq		Integer	1	カード登録連番	登録時は、入力不可です。 更新時は、更新する値を設定。 (物理モードの場合は最大 4 桁)
6	DefaultFlag		String	1	デフォルトフラグ	以下のいずれかを設定 0:デフォルトとしない(デフォルト) 1:デフォルトとする
7	CardName		String	10	カード会社略称	
8	CardNo		String	16	カード番号	
9	CardPass		String	20	カードパスワード	決済時に必要となるカードパスワードを 設定します。
10	Expire		String	4	有効期限	(YYMM 形式)
11	HolderName		String	50	名義人	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	CardSeq	-	Integer	1	カード登録連番	モードにより返却内容が異なります。 (物理モードの場合は最大 4 桁)
2	CardNo	-	String	16	カード番号	カード番号へのマスクはサイト情報に設定してある値を使用して行います。
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	有効性チェックを行ったときの仕向先コード
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.8. カード情報の削除をする

登録されているカード情報の削除を行います。但し、物理削除は行わず論理削除となりますので、物理モードによるカード参照では削除されたカード情報も取得することが可能です。

2.8.1. カード削除の流れ

以下にカード情報を削除する流れを説明致します。

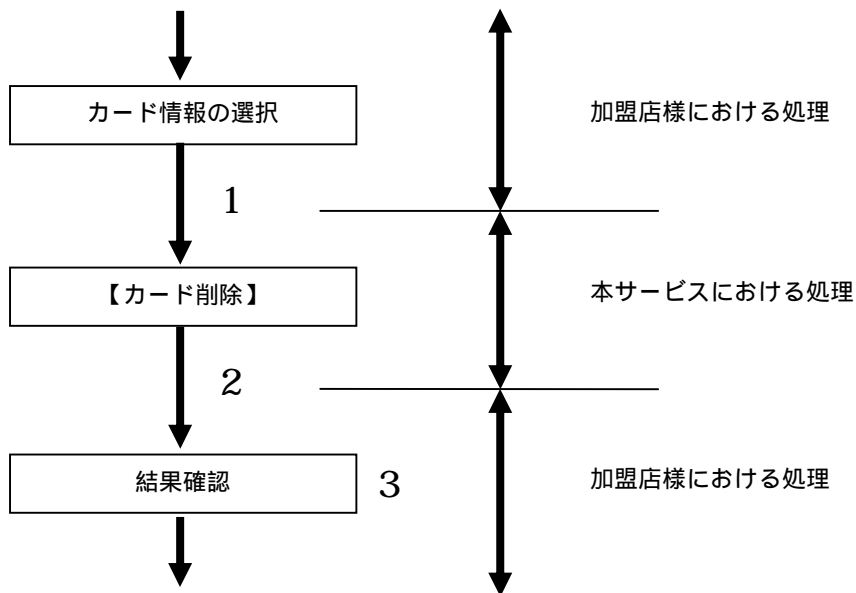


図 2.8.1-1 カード削除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様が選択した削除対象のカード情報をもって【カード削除】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定されたカード情報を論理削除します。
3. 加盟店様は、お客様に削除された内容を通知します。

2.8.2. 各インタフェース仕様詳細

2.8.2.1. カード削除

インタフェース概要

指定した会員のカード情報を削除します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doDeleteCard	DeleteCardInput	DeleteCardOutput	プロトコルタイプのカード削除インタフェースを使用して、カード情報を削除します。

【DeleteCardInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【DeleteCardOutput】

出力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	
4	SeqMode		String	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0:論理モード(デフォルト) 1:物理モード
5	CardSeq		Integer	1	カード登録連番	削除を行うカードの登録連番 (物理モードの場合は最大 4 桁)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	CardSeq	-	Integer	1	カード登録連番	削除を正常に完了したカードの登録連番 (物理モードの場合は最大 4 桁)
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.9. カード情報を参照する

会員に登録されているカード情報を返します。取得内容は論理モードの場合には、会員が登録しているカード情報で有効なカード情報のみとなります。また、物理モードの場合には、会員の削除したカード情報を含む全てのカード情報を取得することが可能となります。

2.9.1. カード参照の流れ

以下にカード情報を参照する流れをご説明します。

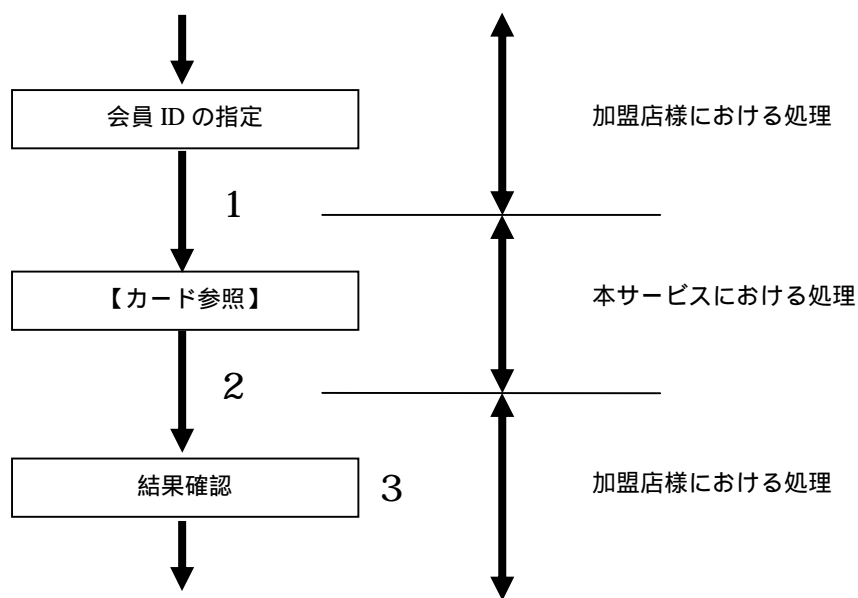


図 2.9.1-1 カード参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照対象の会員 ID をもって【カード参照】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定されたカード情報を参照します。
3. 加盟店様は、返却されたカード情報を確認します。

2.9.2. 各インタフェース仕様詳細

2.9.2.1. カード参照

インタフェース概要

指定した会員のカード情報を参照します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSearchCard	SearchCardInput	SearchCardOutput	プロトコルタイプのカード参照インタフェースを使用して、カード情報を取得します。

【SearchCardInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchCardOutput】

出力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	
4	SeqMode		String	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0:論理モード 1:物理モード
5	CardSeq		Integer	1	カード登録連番	参照するカードの登録連番 (物理モードの場合は最大 4 桁)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

【出力パラメータ(本サービス 加盟店様)】

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	CardList	-	List	-	カード情報リスト	
	CardInfo	-	CardInfo	-	カード情報	
	CardSeq	-	Integer	1	カード登録連番	(物理モードの場合は最大 4 桁)
	DefaultFlag	-	String	1	デフォルトフラグ	
	CardName	-	String	10	カード会社略称	
	CardNo	-	String	16	カード番号	
	Expire	-	String	4	有効期限	
	HolderName	-	String	50	名義人	
	DeleteFlag	-	String	1	削除フラグ	
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.10. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを未使用>

事前に会員が登録したカード情報を使用しての決済を行います。ここでは決済時に本人認証サービスを使用しない決済について説明致します。

2.10.1. 会員 ID 決済の流れ

以下に、本人認証サービスを使用しない会員 ID 決済の流れを説明致します。

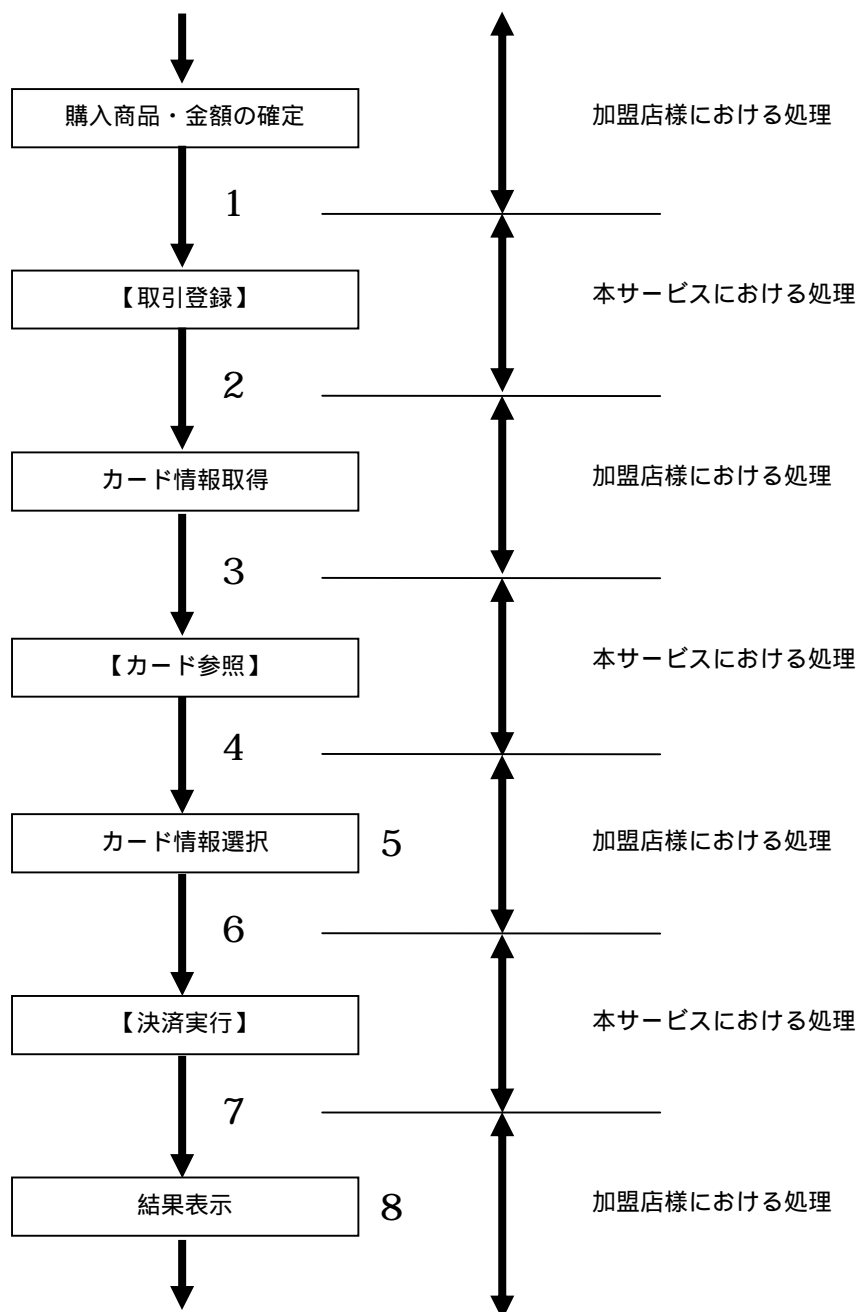


図 2.10.1-1 会員 ID 決済<本人認証サービス未使用>の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、会員 ID をもって、本サービスの【カード参照】を呼び出します。
4. 本サービスは、対象会員のカード情報を参照し返します。
5. 加盟店様は、お客様にカード情報を選択して頂く画面を表示します。
6. 加盟店様は、お客様が選択したカード情報のカード登録連番をもって、本サービスの【決済実行】を呼び出します。
7. 本サービスは、カード登録連番よりカード情報を参照します。取得したカード情報を使用してカード会社との通信を行い決済を実施し結果を返します。
8. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.10.2. 各インターフェース仕様詳細

2.10.2.1. 取引登録

「2.1.2.1 取引登録」の内容をご参照下さい。

2.10.2.2. カード情報照会

「2.9.2.1 カード参照」の内容をご参照下さい。

2.10.2.3. 決済実行

インタフェース概要

お客様が選択したカード登録連番のカード情報を取得します。取得したカード情報でカード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTran	ExecTranInput	ExecTranOutput	プロトコルタイプの決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Method		String	1	支払方法	以下のいずれかを設定 1:一括 2:分割 3:ボーナス一括 4:ボーナス分割 5:リボ 『有効性チェック』を除く処理区分は必須となります。
5	PayTimes		Integer	2	支払回数	分割もしくはボーナス分割の支払方法は必須となります。
6	SiteID		String	13	サイト ID	
7	SitePass		String	20	サイトパスワード	
8	MemberID		String	60	会員 ID	
9	SeqMode		String	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0:論理モード(デフォルト) 1:物理モード(1)
10	CardSeq		Integer	1	カード登録連番	決済に使用するカード登録連番(1) (物理モードの場合は最大 4 桁)
11	CardPass		String	20	カードパスワード	カード登録時に設定したパスワードを設定します。
12	SecurityCode		String	4	セキュリティーコード	
13	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
14	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
15	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
16	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0:返却しない 1:返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 - : 出力時】

1: 物理モードの場合、削除カードでの決済が可能です。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACS	-	String	1	ACS 呼出判定	0:ACS 呼出不要
2	OrderID	-	String	27	オーダーID	
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	
4	Method	-	String	1	支払方法	
5	PayTimes	-	String	2	支払回数	
6	Approve	-	String	7	承認番号	
7	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
8	TranDate	-	String	14	決済日付	(yyyyMMddHHmmss 形式)
9	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(1)
10	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	決済実行時に加盟店自由項目返却フラグが【返却する】の場合のみ返却
11	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
13	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 - : 出力時】

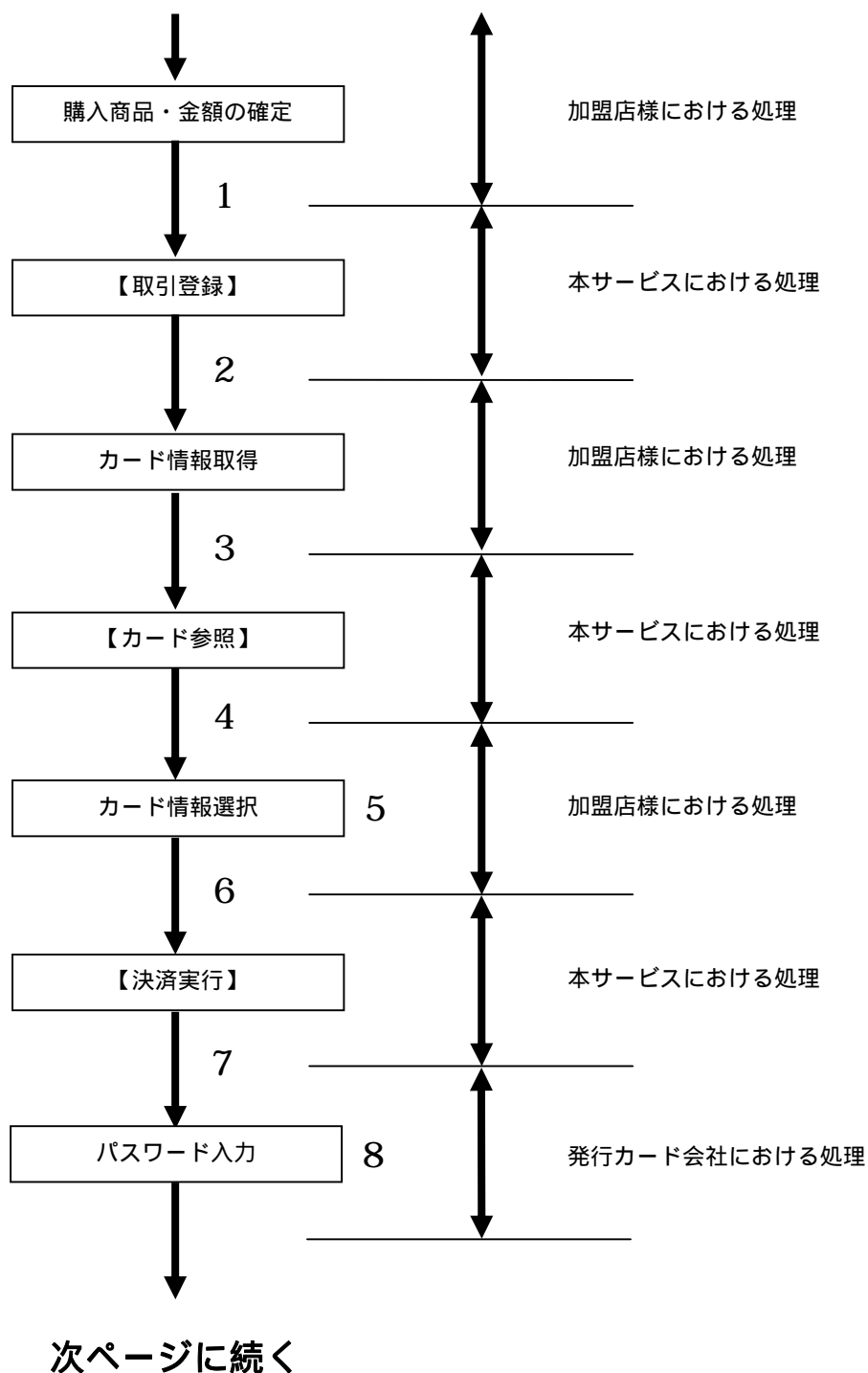
1: 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにした MD5 ハッシュのメッセージダイジェスト

2.11. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを使用>

事前に会員が登録したカード情報を使用しての決済を行います。ここでは決済時に本人認証サービスを使用する決済について説明致します。

2.11.1. カード番号を選択し、本人認証を行って決済する場合の流れ

以下に、本人認証サービスを使用する会員 ID 決済の流れを説明致します。



前ページより

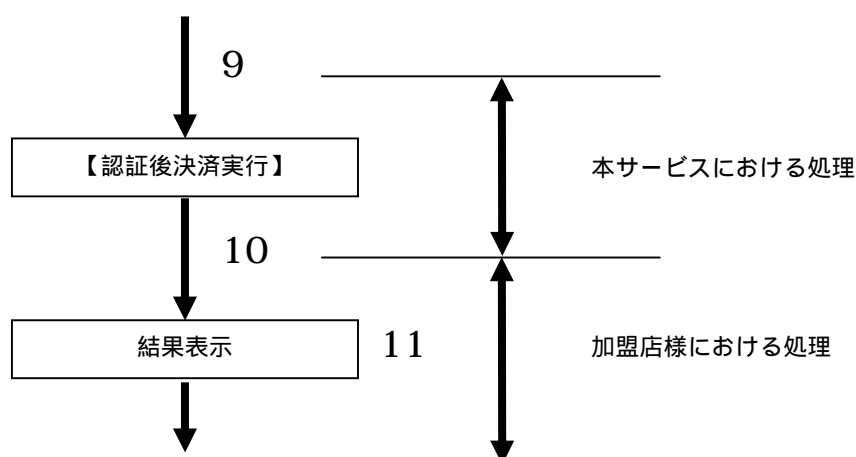


図 2.11.1-1 会員 ID 決済<本人認証サービス使用>の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、会員 ID をもって、本サービスの**【カード参照】**を呼び出します。
4. 本サービスは、対象会員のカード情報を参照し、返します。
5. 加盟店様は、お客様にカード情報を選択して頂く画面を表示します。
6. 加盟店様は、お客様が選択したカード情報のカード登録連番をもって、本サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
7. 本サービスは、カード登録連番よりカード情報を参照します。取得したカード情報を使用して本人認証サービスとの通信を行い本人認証可能なカード情報が否かを判定し本人認証パスワード入力画面 URL を返します。
カード情報が本人認証サービス不可の場合は、カード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。
8. 加盟店様は、本サービスより返された本人認証パスワード入力画面 URL を呼び出します。
9. 加盟店様は、本人認証サービスより返された値をもって本サービスの**【認証後決済実行】**を呼び出します。
10. 本サービスは、本人認証サービスより戻された値を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
11. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.11.2. 各インターフェース仕様詳細

2.11.2.1. 取引登録

「2.1.2.1 取引登録」の内容をご参照下さい。

2.11.2.2. カード情報照会

「2.9.2.1 カード参照」の内容をご参照下さい。

2.11.2.3. 決済実行

インタフェース概要

お客様が選択したカード登録連番のカード情報を取得します。カード情報が本人認証サービスに対応していない場合は、カード会社との通信を行い決済を実行する。その際の出力パラメータは「2.10.2.3 決済実行」の出力パラメータと同じになります。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTran	ExecTranInput	ExecTranOutput	プロトコルタイプの決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Method		String	1	支払方法	以下のいずれかを設定 1:一括 2:分割 3:ボーナス一括 4:ボーナス分割 5:リボ 『有効性チェック』を除く処理区分は必須となります。
5	PayTimes		Integer	2	支払回数	分割もしくはボーナス分割の支払方法は必須となります。
6	SiteID		String	13	サイト ID	
7	SitePass		String	20	サイトパスワード	
8	MemberID		String	60	会員 ID	
9	SeqMode		String	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0:論理モード(デフォルト) 1:物理モード(1)
10	CardSeq		Integer	1	カード登録連番	決済に使用するカード登録連番(1) (物理モードの場合は最大 4 桁)
11	CardPass		String	20	カードパスワード	カード登録時に設定したパスワードを設定します。
12	SecurityCode		String	4	セキュリティーコード	
13	HttpAccept		String	-	HTTP_ACCEPT	
14	HttpUserAgent		String	-	HTTP_USER_AGENT	
15	DeviceCategory		String	1	使用端末情報	以下のいずれかを設定 0:PC(デフォルト) 1:携帯装置(2007 年 2 月現在 未対応)
16	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
17	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
18	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
19	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定 0:返却しない 1:返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

1: 物理モードの場合、削除カードでの決済が可能です。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACS	-	String	1	ACS 呼出判定	1:ACS 呼出要
2	ACSUrl	-	String	-	本人認証パスワード入力画面(発行元カード会社)URL	Visa 3D セキュア仕様に準拠
3	PaReq	-	String	-	3D セキュア認証要求電文	Visa 3D セキュア仕様に準拠
4	MD	-	String	32	取引 ID	セッション管理に使用

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.11.2.4. カード会社のパスワード入力画面を呼び出す

「2.2.2.3 カード会社のパスワード入力画面を呼び出す」の内容をご参照下さい。

2.11.2.5. 認証後決済実行

「2.2.2.5 認証後決済実行」の内容をご参照下さい。

2.12. 決済の内容を取り消す

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容を取り消すこと(以下、決済取消)が可能です。処理区分は状況に応じて『VOID：取消』、『RETURN：返品』、『RETURNX：月跨り返品』を設定してください。また、各処理区分の説明は、「導入ガイド」> [6.処理区分一覧] に記載がございますので、ご参照ください。

決済の取り消しを行っても与信枠はすぐに戻らない場合があります。

与信枠への反映はカード会社によってタイミングが異なります。

2.12.1. 決済内容を取り消す流れ

以下に決済の内容を取り消す流れをご説明します。

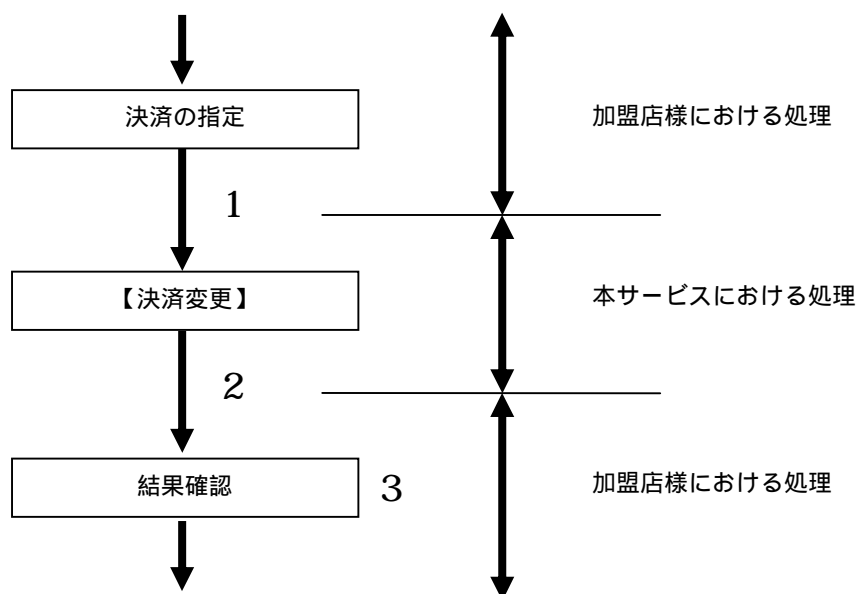


図 2.12.1-1 決済取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、変更する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの**【決済変更】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された処理区分に対する処理をカード会社と通信を行い実施します。
3. 加盟店様は、決済取消の結果を確認します。

2.12.2. 各インタフェース仕様詳細

2.12.2.1. 決済変更

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容の取り消しを行います。指定された取引情報を使用してカード会社と通信を行い取り消しを実施します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doAlterTran	AlterTranInput	AlterTranOutput	プロトコルタイプの決済変更インターフェイスを使用して、取引の変更を行います。

【AlterTranInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AlterTranOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	JobCd		String	-	処理区分	以下のいずれかを設定 VOID：取消 RETURN：返品 RETURNX：月跨り返品

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白：省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	
4	Approve	-	String	7	承認番号	
5	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
6	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 形式(システム日付)
7	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白：省略可能 -: 出力時】

2.13. 取り消した決済に再度オーソリを行う

取り消しが完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、再度オーソリを実施すること(以下、再オーソリ)が可能です。但し、以下のような場合は再オーソリがエラーとなる場合があります。

- ・ 取り消し後、すぐに再度オーソリを実施した場合
(与信枠が戻っていない場合には、限度額オーバーになる場合があります)
- ・ 初期のオーソリ時点から、長期の時間経過があった場合
(時間経過によりカードの有効期限エラーまたはカード状況により限度額オーバーとなる場合があります)

2.13.1. 再オーソリを行う流れ

以下に再度オーソリを行う流れを説明致します。

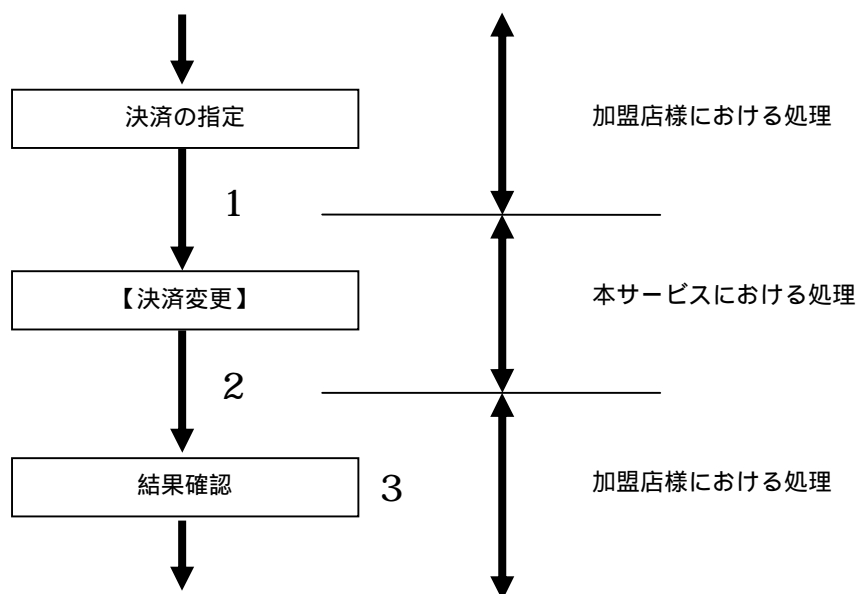


図 2.13.1-1 再オーソリの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、再オーソリする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの**【決済変更】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された処理区分に対する処理をカード会社と通信を行い実施します。
3. 加盟店様は、再オーソリの結果を確認します。

2.13.2. 各インタフェース仕様詳細

2.13.2.1. 決済変更

インタフェース概要

取り消されている決済に対して再オーソリを行います。指定された決済情報を使用してカード会社と通信を行い実施します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doAlterTran	AlterTranInput	AlterTranOutput	プロトコルタイプの決済変更インタフェースを使用して、取引の変更を行います。

【AlterTranInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AlterTranOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	JobCd		String	-	処理区分	以下のいずれかを設定 CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上
6	Amount		Integer	7	利用金額	
7	Tax		Integer	7	税送料	
8	Method		String	1	支払方法	以下のいずれかを設定 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ
9	PayTimes		Integer	2	支払回数	分割もしくはボーナス分割の支払方法は必須となります。
10	DisplayDate		string	6	利用日 (YYMMDD)	ご利用明細に記載される日付を指定します。 処理区分が"CAPTURE"のとき有効 西暦、月日が一桁の場合は前ゼロ

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白：省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	
4	Approve	-	String	7	承認番号	
5	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
6	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式(システム日付)
7	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値が返却されます。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値が返却されます。 エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値が返却されます。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値が返却されます。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.14. 売上の確定を行う

仮売上上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

仮売上実施後、90 日以上経過してから実売上を行った場合はエラーとなります。

詳細は、「1.2.1 取引について」の内容をご参照下さい

2.14.1. 実売上を行う流れ

以下に実売上を行う流れを説明致します。

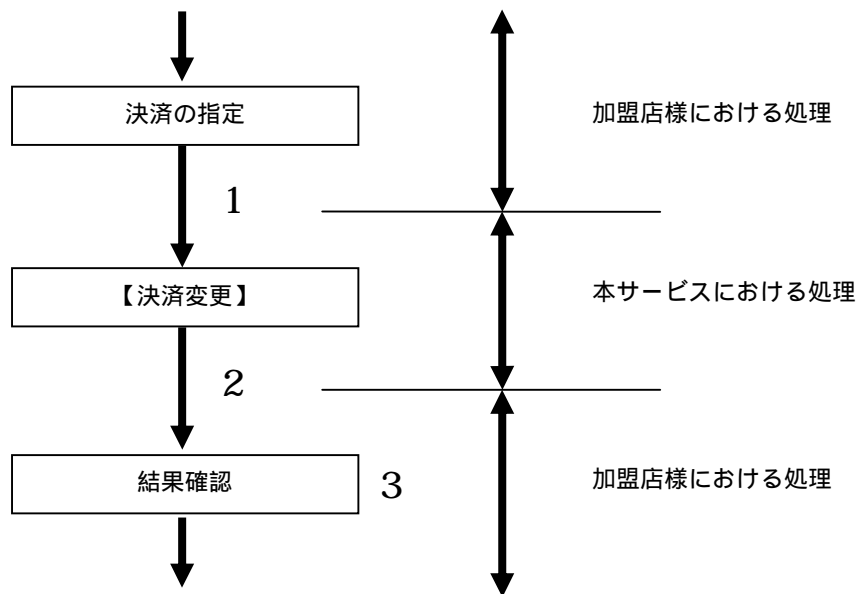


図 2.14.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの**【決済変更】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の売上を確定します。
3. 加盟店様は、実売上の結果を確認します。

2.14.2. 各インタフェース仕様詳細

2.14.2.1. 決済変更

インタフェース概要

販売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に販売上時との金額チェックを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doAlterTran	AlterTranInput	AlterTranOutput	プロトコルタイプの決済変更インターフェイスを使用して、取引の変更を行います。

【AlterTranInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AlterTranOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	JobCd		String	-	処理区分	SALES：実売上
6	Amount		Integer	7	利用金額	【取引登録】で指定した金額 金額の妥当性チェックを行います。
7	DisplayDate		string	6	利用日(YYMMDD)	ご利用明細に記載される日付を指定します。 西暦、月日が一桁の場合は前ゼロ

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	
4	Approve	-	String	7	承認番号	
5	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
6	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 形式(システム日付)
7	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.15. 完了した決済に金額の変更を行う

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容の金額を変更すること(以下、金額変更)が可能です。

内部的に、決済変更の取消 / 返品と再オーソリを実施した結果を返します。そのため、金額変更を実施した場合は取引履歴には取消 / 返品と再オーソリの 2 件が作成されます。

尚、取消 / 返品または再オーソリ時にエラーが発生した場合は、処理前の取引状態に戻ります。取引履歴には取消 / 返品または再オーソリの 1 件作成されます。

2.15.1. 金額変更を行う流れ

以下に実売上を行う流れを説明致します。

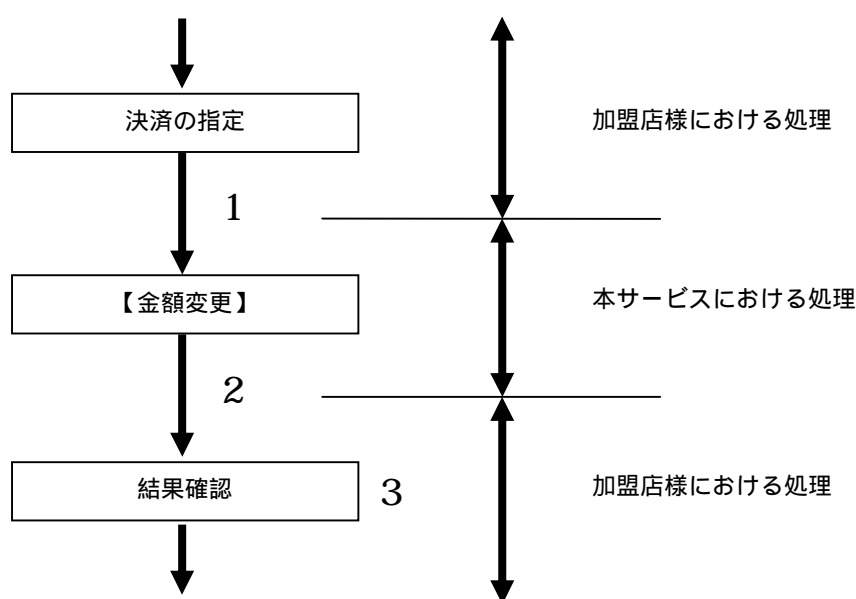


図 2.15.1-1 金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの**【金額変更】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された処理区分に対する処理をカード会社と通信を行い実施します。
3. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

2.15.2. 各インタフェース仕様詳細

2.15.2.1. 金額変更

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して金額の変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doChangeTran	ChangeTranInput	ChangeTranOutput	プロトコルタイプの金額変更インターフェイスを使用して、金額の変更を行います。

【ChangeTranInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【ChangeTranOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	JobCd		String	-	処理区分	以下のいずれかを設定 CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SAUTH：簡易オーソリ 金額変更後の処理区分
6	Amount		Integer	7	利用金額	
7	Tax		Integer	7	税送料	
8	DisplayDate		string	6	利用日(YYMMDD)	ご利用明細に記載される日付を指定します。 処理区分が"CAPTURE"のとき有効 西暦、月日が一桁の場合は前ゼロ

【必須項目の記号】 : 必須 : 条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	
4	Approve	-	String	7	承認番号	
5	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
6	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 形式(システム日付)
7	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.16. 決済結果を参照する

オーダーID を指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生するなどの状況で決済結果が取得できなかった場合は、本インターフェースにて取得して下さい。

2.16.1. 取引状態参照の流れ

以下に決済の結果を参照する流れを説明致します。

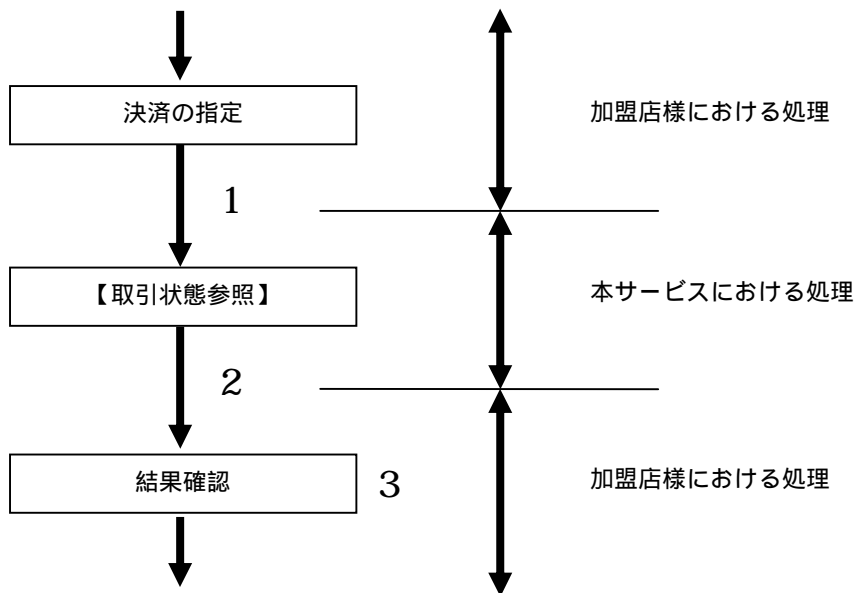


図 2.16.1-1 取引状態参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーID を指定し、本サービスの【取引状態参照】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

2.16.2. 各インタフェース仕様詳細

2.16.2.1. 取引状態参照

インタフェース概要

指定されたオーダーID の取引情報の状態を取得して返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSearchTrade	SearchTradeInput	SearchTradeOutput	取引状態参照プロトコルタイプインターフェイスを使用して、取引状態を参照します。

【SearchTradeInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchTradeOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	15	現状態	以下のいずれかを返却します。 UNPROCESSED：未決済 AUTHENTICATED：未決済(3D 登録済) もしくは各処理区分
3	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 形式
4	JobCd	-	String	10	処理区分	以下のいずれかを返却します。 CHECK：有効性チェック CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SALES：実売上 VOID：取消 RETURN：返品 RETURNX：月跨り返品 SAUTH：簡易オーソリ
5	AccessID	-	String	32	取引 ID	
6	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	
7	ItemCode	-	String	7	商品コード	
8	Amount	-	Integer	7	利用金額	
9	Tax	-	Integer	7	税送料	
10	SiteID	-	String	13	サイト ID	
11	MemberID	-	String	60	会員 ID	
12	CardNo	-	String	16	カード番号	下 4 桁以外は伏字
13	Expire	-	String	4	有効期限	
14	Method	-	String	1	支払方法	以下のいずれかを返却します。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ
15	PayTimes	-	Integer	2	支払回数	
16	Forward	-	String	7	仕向先コード	
17	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
18	Approve	-	String	7	承認番号	
19	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
20	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
21	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
22	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

2.17. カード番号決済に使用したカード番号を登録する

正常に完了したカード番号決済に使用したカード情報を登録すること(以下、決済後カード登録)が可能です。本インタフェースを使用した場合には、決済にて有効性の確認が取れていますので、カード会社への有効性チェックは行いません。

2.17.1. 決済に使用したカード番号登録の流れ

以下に決済で使用したカード情報を登録する流れを説明致します。

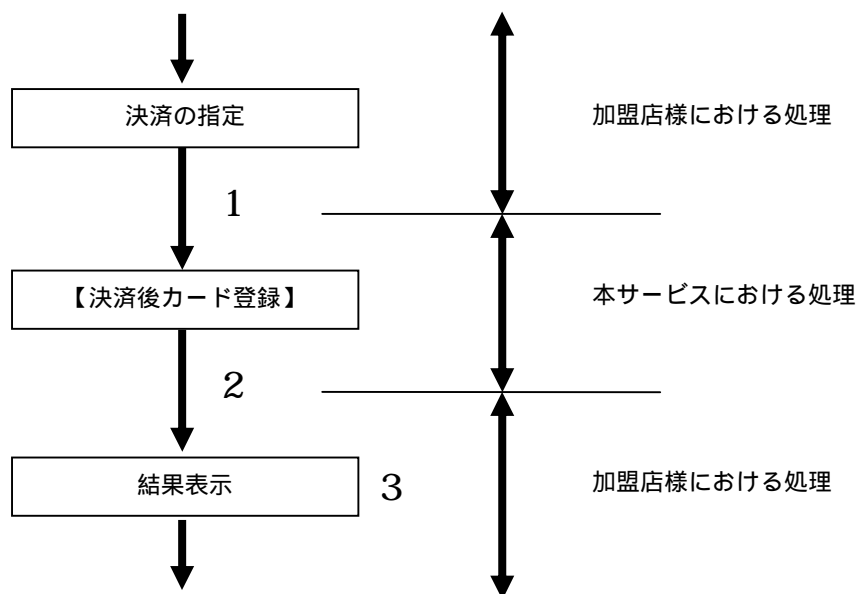


図 2.17.1-1 決済後カード登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、カード番号を登録する取引のオーダーID と登録する対象の会員 ID を指定し、本サービスの**【決済後カード登録】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の内容を取得して、指定された会員のカード情報を登録します。
3. 加盟店様は、お客様に登録結果を表示します。

2.17.2. 各インタフェース仕様詳細

2.17.2.1. 決済後カード登録

インタフェース概要

指定されたオーダーID の取引に使用したカード情報を登録します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doTradedCard	TradedCardInput	TradedCardOutput	プロトコルタイプの決済後カード登録インタフェースを使用して、カード情報を登録します。

【TradedCardInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【TradedCardOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	SiteID		String	13	サイト ID	
5	SitePass		String	20	サイトパスワード	
6	MemberID		String	60	会員 ID	
7	SeqMode		String	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0:論理モード(デフォルト) 1:物理モード
8	DefaultFlag		String	1	洗替・継続課金フラグ	以下のいずれかを設定 0:継続課金対象としない(デフォルト) 1:継続課金対象とする
9	HolderName		String	50	名義人	登録するカードに記載されている名義人を設定します。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	CardSeq	-	Integer	1	カード登録連番	
2	CardNo	-	String	16	カード番号	下 4 桁以外伏字
3	Forward	-	String	7	仕向先コード	有効性チェックを行ったときの仕向先コード
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.18. その他

2.18.1.1. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTran	EntryExecTranInput	EntryExecTranOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インターフェイスを使用していきます。

【EntryExecTranInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。